

開講期	2025年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	4275 フィールドワーク(地域環境2)			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	許可			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	火曜3限				
教室	H104理科室				
代表教員	堂前 雅史				
担当教員	堂前 雅史				
テーマと到達目標	<p>フィールド生物学実習の入門編。現代人にとって「自然」とはメディアや観光を通じて教授されるものとなってしまった。本講義では、都市の自然の中に生息する動植物を観察することを通じて、自分の足もとにある自然を自分の目と手足で感受する能力を身につける。前期の授業を踏まえて、流域、丘陵といったバイオリージョンを意識した生態感覚を身につける。</p> <p>この科目は地域流域プログラムのコア科目である。</p>				
概要	<p>前期の授業を踏まえて、三浦半島で8月中旬に三浦半島小網代の森に日帰りフィールドワーク、2025年9月8日(月)–11日(木)に3泊4日の油壺の東京大学三崎臨海実験所での合宿フィールドワークを行うので、これらに参加することは必須である。9月からの通常授業では前期同様に、主として大学キャンパス周辺の自然環境を定点観測する。また日によっては定点観測ではなく、大学付近の地域の自然環境の踏査や、鶴見川の治水施設見学、寺家ふるさと村の踏査、バードウォッチング等を行う予定である。作業は3限では済まないで、4限まであけておくこと。</p> <p>また以下の予定は、天候などによって変更される。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	定点観測				対面授業
第2回	定点観測				対面授業
第3回	定点観測				対面授業
第4回	定点観測				対面授業
第5回	定点観測				対面授業
第6回	岡上地域自然踏査(天候によっては延期して、定点観測)				対面授業
第7回	定点観測				対面授業
第8回	定点観測				対面授業
第9回	定点観測				対面授業
第10回	鶴見川治水施設見学(天候や施設側の都合で日程変更や中止になることもある)				対面授業
第11回	寺家ふるさと村見学(雨天の場合は延期して、定点観測)				対面授業
第12回	バードウォッチング入門(雨天の場合は延期して、定点観測)				対面授業
第13回	川崎市の緑地保全政策				対面授業
第14回	まとめ				対面授業
第15回	里山の文化体験: どんど焼き準備(日程変更の予定)				対面授業
成績評価の基準	毎回のレポート、授業への参加状況を総合的に評価する。試験はなく、出席して体験することが重視される。合宿の参加は必須。事情で一部参加できない場合は相談に応じる。				
履修にあたっての留意事項	受講条件として前期講義「フィールドワーク(地域環境1)」を履修した者に限る。この前期講義を修了していないと単位は出せない。許可は、前期講義「フィールドワーク(地域環境1)」の初回オリエンテーションで行うので必ず前期授業初回に出席すること。作業によっては授業時間を超過するので、次の時限(4時限目)をあけておくこと。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業					

の優先条件

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	8月の小網代の森の日帰りフィールドワークでは交通費、食事代等が、9月の油壺の合宿では交通費、宿泊費、食事代等がかかる。他に寺家ふるさと村や恩廻公園から帰る時にバス代、電車代がかかることがある。		
教科書	自然が教科書	教科書(ISBN)	
参考文献	毎回、図書館から50冊ほどの図鑑を借り出す。図鑑を借り出して教室に運ぶ「図鑑係」は当番制となる。こちらも真面目にやること。 岸由二 『「奇跡の自然」の守りかた: 三浦半島・小網代の谷から』 (ちくまプリマー新書) 筑摩書房 (2016)を読んでおくと、8月の日帰りフィールドワークが楽しめる。	参考文献(ISBN)	978-4480689580